



生活協同組合おおさかパルコープ ■ 組合員総数：367,854人 ■ 出資金：155億806万円（1月20日現在）

組合員さんの 岩手ボランティアバス 第16回(12/28~31)

64名参加



おおつち
大槌町と陸前高田市の7カ所 →
の仮設住宅で“お正月のおふる
まい”(おせちときりたんぼ鍋)

いわて生協の組合員さんたちに
教えていただきながらおせちの
パック詰め作業 ↓



↑大槌町の高台から市街地を。1年9カ月が過ぎても、
がれきと壊れたままの公共施設が残っています



←壊れたままの大槌町役場

あれからまもなく2年 忘れない
年の瀬 年明けも 被災地に

第16回に参加された
組合員さんの感想より

初めて岩手を訪れました。大槌町の仮設住宅の炊き出しで、きりたんぼ鍋をつくって配る仕事をしました。みなさんにおいしそうに食べていただいていたうれしかったです。午後は被災地を見て回りました。大槌町役場は一番津波のおそろしさを物語っていると思いました。被災地の方の笑顔が見れて、勇気ももらった気がします。また、会いたいです。

(東住吉区・徳岡さん 中学一年生)

被災地は今もすさまじい爪跡が残り、胸がつまるようでした。美しいのどかな風景の場所です。美しき日常を過ごされていたはずなのに…。同時に、いつまた起きるか分からない災害への危機感と防災意識をしっかりと、私たちも生活を考えなくては、と思いました。旅館のお風呂で「津波でんでんこ」の言葉を教えてくださいました。陸前高田市のおばあちゃん、しっかりと胸に刻み、伝えていきます。

(枚方市・西浦さん)